

仮橋仮栈橋斜張式架設工法 LIBRA工法

NETIS登録番号：(旧) KT-990222-VE

株式会社横山基礎工事

〒679-5303 兵庫県佐用郡佐用町真盛385-2

TEL 0790-82-2215 FAX 0790-82-0209

URL https://www.yokoyamakiso.co.jp/

mail ykym@yokoyamakiso.co.jp

【拠点】東京(TEL.03-5968-8623)、東北(TEL.0223-35-7075)、名古屋(TEL.0568-29-6517)、大阪(TEL.072-653-7222)、四国(TEL.087-833-9922)、広島(TEL.082-289-4363)、九州(TEL.092-451-8006)、南九州(TEL.0984-35-2526)



作業構台 施工例



工事用道路 施工例

概要

山間林野部の傾斜地など機械足場の確保が困難な状況下では、杭心を確保する導材の設置、橋脚補強材設置や上部工部材の架設など、それに先行する足場の構築は高所作業が避けられず作業性と共に安全性確保が望まれていた。

「LIBRA工法」は、上部工である鋼製パネルを支持杭打設のガイドとする事により、杭心確保を容易にし、上部工架設までの足場材設置を削減、傾斜地における煩雑な橋脚補強も大幅に省力化した。

仮橋・仮栈橋施工の安全性を向上させながら工期短縮を追求し、同時に自然環境への影響を低減させることを目的として開発したものである。

特長

1. 上部工架設において足場工と架設作業にかかる高所作業が低減され、工期短縮と安全性が向上する。
2. 上部工と下部工の併行作業化が可能となり、手待ちが低減し施工性が向上する。
3. 削孔と建込みが同時に進行し、軟弱地盤、崩壊性地盤から転石等の硬質地盤まで安定した施工が可能。

適用工種

- ・工事用道路・付替道路・斜面上での作業構台
- ・水上・海上での作業構台
- ・災害復旧時の応急橋・作業用構台

諸元

項目	457系			508系		609系
	用途			用途		用途
上部構造	支間長	6m	8m	10m	6m	8m
	幅員	標準6m			標準8m	
	縦断勾配	0~15%				
下部構造	杭径	φ457.2		φ508.0		φ609.6
	肉厚	t12				
主要機械	架設用重機	クローラークレーン70t~80t			クローラークレーン100t~150t	
	杭打設	拡径式ダウンザホールハンマ・パイプロハンマ				

※架設用重機は参考表示です。実際の工事の施工計画に際しては、最適な重機を現場毎の施工条件に合わせて個別に選定してご提案致します。

工法ラインナップ

「LIBRA工法」は、長支間や空頭制限など現場毎に要求される制約条件に合わせ施工技術の提案をしている。



20m支間施工 L栈橋



12.5m支間施工 LIBRA II



低空頭施工 フェニックス・ステージ工法